

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

「心豊かで がんばる子」

～自ら進んで行動する「強い子」の育成～

## ＜本年度の学力向上策＞

確かな学力の育成（学びの楽しさを育む）

- 1 基礎・基本の確実な定着
  - ・授業力を高める校内研修 「まず、授業！」授業の充実
  - ・研究指定を受け工夫・改善を進めている「道徳」の研究成果を他教科等に発展
  - ・指導課程の改善（課題提示→まとめ）の徹底、適用問題の確実な実施
  - ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業の推進（考え、話し合い、学び合うことができる時間の十分な確保）
  - ・ノート指導の推進（ノートガイダンスの実施）
  - ・「田島算数検定」、算数タイム等の継続と充実
- 2 学力向上のための家庭との連携
  - ・「田島小家庭学習の手引き」の作成と配付→活用・見届け
  - ・家庭学習の量と質を高める（少なくとも学年×10分）宿題+αを目指す
  - ・家庭で学習する学習環境づくりの啓発  
→学習通信「田島小ののびしろ」の配付、「田島算数検定」との連携
- 3 学習規律と学習意識の確立
  - ・言語環境の適正化（正しい言葉遣いや姿勢等の範を見せる）
  - ・「自ら考え、感じ、行動する」主体的な学習態度の育成
- 4 学力や生活状況に関する調査の経年比較結果に基づいた指導の改善
  - ・全国学力・学習状況調査、市学習状況調査等の分析と個別支援
  - ・学力向上ポートフォリオの作成と見直し
- 5 日常的な読書活動の推進
  - ・年間読書目標冊数の設定と読書記録の作成、本と出会う機会の設定
  - ・モーニングブックタイムの充実と学校図書館司書、図書ボランティアとの連携

## ＜本年度の振り返り＞

- ・本校の研究課題である道徳の授業改善の中で得られた、主体的・対話的で深い学びを実現する授業を他教科等でも推進し、基礎・基本を確実に定着させることができた。
- ・授業での習熟の時間の充実や「田島小算数検定」の実施により、市学習状況調査における算数の同一集団経年比較では、昨年度を上回る学年が多かった。しかし、国語については下回る学年が多く、課題をより明らかにして次年度の指導に生かしていく必要がある。
- ・学校だよりでの啓発や「田島算数検定」の実施等により、家庭学習の啓発に努めたが、学校評価アンケートによる保護者や児童の意識に大きな変化は見られなかった。